



落合 康之 議員

新型コロナウイルス対策について

問 (1) 市長および市幹部の管理体制について①市民への情報発信は適切であったか。②インターネット環境のない市民への周知 (2) 緊急対策について③第1次から第3次の緊急対策は市民に理解されるものであったか。④小中学校の臨時休校対応は十分であったか。⑤生活者支援と事業者支援の優先順位は的確であったか。⑥医療的ケア児者への対応⑦介護保険利用者のうち、

通所等デイサービスの利用状況 (3) 学校教育オンライン授業について⑧児童生徒のインターネット環境⑨eライブラリのアクセス件数、以上9点について伺う。

答 (市長) ③市独自の対策が市民すべての要求に対応できたとは考えていない。今後も事業活動等の実態把握に努め真に必要な緊急対策を講じていきたい。

⑥日常必要な消毒等は、家庭で備蓄をお願いするとともに、市でも災害対策用の医薬品等物資として検討していきたい。

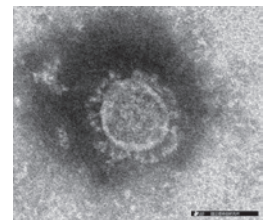
答 (教育長) ⑧端末貸し出し調査で希望のあった654世帯に貸し出しを行った。⑨5月の1カ月に中学校合計68,484件、1人当たり20.4回アクセスがあった。

答 (企画政策部長) ①市ホーム

ページ等での発信のほか、広報紙や各庁舎への情報掲示を行った。②紙媒体により新型コロナウイルス感染症に関する情報等の配布、回覧を行った。⑤市としてはどちらが優先ではなく、必要な対策を順次できるところから重点的に実施していきたい。

答 (福祉部長) ⑦3月を1年前と比較すると、利用率3.3%、介護給付費7.9%の増となった。

答 (教育部長) ④子どもの健康、安全を第一に考え、感染リスク低減のために臨時休校とした。

新型コロナウイルス顕微鏡写真
提供：国立感染症研究所

鶴見 久美子 議員

新型コロナウイルス対策について

問 ①感染者の対応について、PCR検査等保健所との連携、市独自の検査体制について伺う。②学校休業時における対応について、タブレット端末等の貸し出し状況、またICT化におけるGIGAスクール構想に対する課題等について伺う。③災害時における避難所等について、感染拡大時の避難所の運営方針、備蓄品等の現状、車中泊のための青空避難所の検討について伺

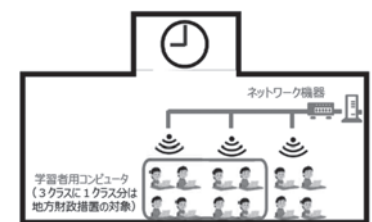
う。また、妊産婦や重症心身障がい者の方が民間のホテル等を利用した時の、宿泊費の助成制度について伺う。

答 (総務部長兼危機管理監) ③市の基本的考え方として、感染症拡大防止に向けた分散避難の推進等に努めている。また、衛生管理としてマスクを9万枚配備し、消毒液などの購入を進めている。青空避難として、浸水想定区域外の小堤スポーツ広場等の駐車場を用意している。宿泊費の助成については、市内の多くのホテル等が浸水想定区域内のため、対象者、金額を含め慎重に検討していきたい。

答 (健康推進部長) ①保健所と緊密な情報共有を行い、電話相談業務の負担軽減として保健師

を派遣している。また、PCR検査については古河市医師会が中心となり、地域外来・検査センターが近日中に運用開始できるよう進めており、市としても全面的な協力体制を取っている。

答 (教育部長) ②ICT端末や通信環境が整っていない654世帯を対象に端末の貸し出しを行った。GIGAスクール構想での課題として、今後端末更新時期を迎えた際の財源の確保が課題となっている。



※ 支援メニュー (①校内LAN整備+端末整備、②端末独自整備を前提とした校内LAN整備、③LTE通信費等独自確保を前提とした端末整備)

GIGAスクール構想の実現